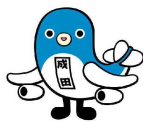


# 成田市 農業委員会だより



発行／成田市農業委員会  
編集／成田市農業委員会だより編集委員会  
電話／0476-20-1573  
第52号 平成31年3月22日発行



平成29年から空港のすぐ近くのハウスでイチゴを栽培している三浦ファームの三浦さん。

今回イチゴを栽培しているハウスの中を見学させていただきました。三浦ファームでは、チーバベリー、あきひめ、おいCベリー等様々ないちごを栽培しており、今話題の黒いちご(真紅の美鈴)も栽培しています。

三浦ファームのイチゴは、市内のスーパーや空の駅さくら館の直売所等で販売しているようで、パックにはマスコットキャラクターのシールが貼られていますので、みなさん是非探してみてください。



## 主な内容

- P 2…鳥獣被害対策、相続等による農地取得
- P 3…耕作放棄地解消事業
- P 4、5…成田市産業まつり、平成31年度農作業標準賃金・機械作業標準料金
- P 6…農政課からのお知らせ、農地法申請のご案内
- P 7…平成30年成田市賃借料水準
- P 8…お知らせ

三浦ファームのマスコットキャラクターマイケル君

**地域ぐるみで鳥獣被害を減らしましょう！！**

平成29年度の市内における鳥獣による農作物被害額は約800万円（平成28年度に比べ、約20万円の増）でした。鳥獣被害は、営農意欲の減退、それに伴う耕作放棄地の増加等、様々な問題を引き起こすものです。最近ではカラス、ハクビシンに加え、アライグマによる農作物被害が多発しており、市では平成30年度から捕獲許可を取得し、松崎、荒海、南三里塚などにおいて捕獲しております。また、イノシシについては従来の大栄地区における被害はもとより、公津地区（下方、台方、大袋など）における農作物被害が多発しました。平成30年度は猟友会の協力のもと、台方において7頭（平成31年2月28日現在）のイノシシを捕獲しております。大栄地区においては、長年の猟友会の駆除活動が功を奏し、平成25年度の40頭の捕獲をピークに個体数は減少し、毎年10頭前後の捕獲で推移しています。

今後も市として捕獲作業を実施し、個体数の減少に努めますが、地域の皆さんも共通認識を持ち、鳥獣対策に取り組みましょう。

**○被害を防ぐには**

鳥獣対策は、「捕獲」、「防護（柵を用いた田畑への侵入防止）」、「鳥獣がすみにくい環境管理」の3つが重要です。特に「鳥獣がすみにくい環境づくり」については、地域ぐるみの対策が必要になります。

**○鳥獣のすみにくい環境管理（収穫しない野菜の放置・棲み家を無くす!）**

- ・収穫しない野菜の放置はやめましょう。

収穫しない野菜は速やかに片づけ、畑や山林に放置しないようにしましょう。地域のみんなと協力し、餌となる野菜を取り除きましょう。

- ・棲み家を無くす。

耕作放棄地や荒れた山林は鳥獣、特にイノシシの格好の棲み家となります。地域ぐるみで定期的に刈り払いを行い、鳥獣にとってすみづらい環境づくりに取り組みましょう。

**※イノシシ出没・被害情報の提供をお願いします。**

イノシシは近年急速に生息範囲を広げており、市内においても生息範囲は広がっています。効率的な駆除を実施するため、出没・被害情報の提供をお願いいたします。

（連絡先：成田市経済部農政課農林畜産係 TEL0476-20-1541）

**相続等により農地の権利を取得したら農業委員会に届出を**

相続（遺産分割、包括遺贈及び相続人に対する特定遺贈を含む）、法人合併・分割、時効等により、農地法の許可を受けることなく農地等の権利を取得した場合には、農地の所在する農業委員会に、その旨を届出することが必要となります。

届出の様式は農業委員会事務局、また、成田市役所のホームページからダウンロードもできます。

<https://www.city.narita.chiba.jp/download/page229100.html>

※届出は権利の取得を知った日から10カ月以内に行ってください。

※なお、この届出によって権利取得の効力を発生させるものではありません。



# 耕作放棄地解消に取り組んでいます



## 公津地区（台方地先）

台方地先の道路沿いにある農地に、地元の農業委員と農業者が協力し、耕作放棄地解消事業により、8月初旬にコスモスの種を蒔きました。花々は満開となり、見事な花畑となりました。休日には、近隣の家族連れが訪れるなど、地域のオアシスとなっていました。

## 遠山地区（十余三地先）

今年も、国道51号線沿いの十余三地先の畑、約20aに、農業委員により耕作放棄地解消事業が行われました。6月から草刈り・耕起作業を行い、7月下旬にコスモスの種を撒きました。

コスモスの花は満開となり、忙しく往来するドライバーの気持ちを癒していました。



## 大栄地区（松子地先）

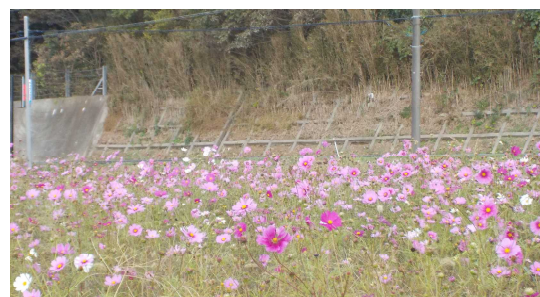
今年も地元の農業委員、農地利用最適化推進委員の協力により、11月初旬に、松子地先、大栄診療所の近くの畑にれんげ草の播種を行いました。

4月から5月にかけて開花時期を迎える予定となっています。



## 下総地区（名古屋地先）

今年も地元の農業委員や農家の方々により、地主が耕作できなくなった畑に落花生を作付けを行いました。



# 成田市産業まつり

第38回成田市産業まつりが11月17日、18日の2日間、成田国際文化会館を会場に開催されました。今年も農業、水産業、市場、商工業を中心に様々なイベントや展示・販売等が行われ、マグロの解体実演や、11月21日はうなりくんの誕生日ということもあり誕生会、キャラクターのクイズ大会なども催され、大いに盛り上がりました。

また、農産物共進会の会場には、農家の皆さんが丹精を込めて育てた見事な農作物が展示され、共進会の即売会では例年のごとく長蛇の列ができていました。

## 農産物共進会



農業委員会会長賞には、八代の藤キヨさんの白菜が選ばれました。おめでとうございます。



11月21日は成田市観光大使うなりくんの誕生日。花束やケーキで来場の方からお誕生日をお祝いされていました。

## 成田市 うまい米・食味コンテスト



表彰を受ける匠瑛さん

今年度も、成田市産業まつり実行委員会主催による「成田市うまい米・食味コンテスト」が開催されました。

10月から11月にかけて市内8地区で予選が行われ、11月7日に成田市役所に於いて市内8地区の優秀米の食味官能審査が行われた結果、みごと匠瑛克己さん（伊能）のお米が最優秀賞に輝き、産業まつり会場で表彰式が行われました。

当日は、各地区予選会に出品された優秀米の無料配布も行われ、成田の美味しいお米を食べてもらうことにより、地元産米の消費拡大につながることを期待されます。

### 平成31年度農作業標準賃金・機械作業標準料金

#### 1 農作業標準賃金

作業種目	契約種別	標準賃金(円)	備考
水田作業	1日	9,900	実労働時間は8時間とする
畑作業	1日	8,200	実労働時間は8時間とする

※ 果樹収穫作業については、畑作業の賃金額を準用のこと。

#### 2 機械作業標準料金

作業種目	契約種別	標準料金(円)	備考
水田耕起	10a請負	6,100	・ロータリー1回分の料金
水田代かき	トラクター 10a請負	6,400	・仕上げの料金 ・ドライブハローを使用 ・ロータリー使用の場合は上の耕起料金を準用
畦塗り	1m当たり	37	・100mを基礎に算出
植付	田植機 10a請負	7,400	・稚苗植の額 ・苗費は含まない
刈取脱穀	コンバイン 10a請負	17,400	・乾燥場までの籾運搬は含まない ・乾燥場までの籾運搬費は籾運搬コンテナを使用する場合、10a当たり910円
乾燥調整	60kg当たり	2,800	・籾摺料金の640円を含む
育苗	1箱当たり	790	・稚苗（硬化苗）の額
畑耕起	トラクター 10a請負	5,800	・ロータリー1回分の料金

※水田機械作業標準料金の算出にあたっては、区画整理されたほ場(30a区画)を想定して設定されています。

※乾燥調製、育苗を除く作業は、オペレーター1人付き料金です。料金には、消費税が内税として含まれています。

※畑耕起以外の金額は、千葉県農業会議が算出した印旛地区の金額と同じです。

## 環境にやさしい農業を始めませんか！！

関東農政局・印旛沼二期農業水利事業所では、平成22年度より国営事業で整備する「循環かんがい※1」の仕組みと併せて、印旛沼の水質保全につながる環境保全型農業を推進しています。

環境保全型農業は、化学肥料・化学合成農薬を減らして栽培する「ちばエコ農産物※2」や、水田からの濁水の流出を抑える「浅水代かき・田植前の無落水※3」等の栽培方法を実施して、窒素・リンや濁水の排出を少なくし、印旛沼の水質保全につなげる等の環境にやさしい農業の事です。

※1「循環かんがい」：印旛沼から取水した用水を水田地域で循環させ繰り返し利用する方法。

※2「ちばエコ農産物」：千葉県認証制度で、化学肥料や化学合成農薬を通常の50%以下の使用で栽培した農産物に認証マークを貼付して販売できる制度。

※3「浅水代かき・田植前の無落水」：土が7～8割見える浅い水深での代かきや、代かき後に落水せず濁水の排出を抑える栽培方法。

～環境保全型農業に取り組む方には、次のような支援制度があります～

①「環境保全型農業直接支払」：2戸以上の農業者団体などが、化学肥料・化学合成農薬を50%以下に減らした栽培と合せてカバークロープ（緑肥）の栽培と土壌還元を行う取組や、有機農業の取組など、取組に応じて10アール当たり最大8,000円が交付されます。

なお、平成30年度からは、エコファーマー認定の要件がなくなり、新たに国際水準の

「GAP（ギャップ：農業生産工程管理のこと）」に取組む要件が追加されています。

②「エコファーマー」認定制度：たい肥などによる土づくりと、化学肥料・化学合成農薬の使用量を減らす栽培技術を導入する計画を立て、県知事の認定を受ける制度です。農業改良資金の借入等の特例措置が受けられます。

③「ちばエコ農産物」認証制度：千葉県の認証制度で、化学肥料・化学合成農薬の使用を通常栽培の50%以下にして栽培した農産物が認証されます。制度には、農産物認証制度と、一定以上のちばエコ農産物を生産する農地を認証する産地指定制度があり、販売促進につながるロゴマークが使用できます。

なお、平成30年度から栽培基準に「GAP」の取組が新たに追加されています。

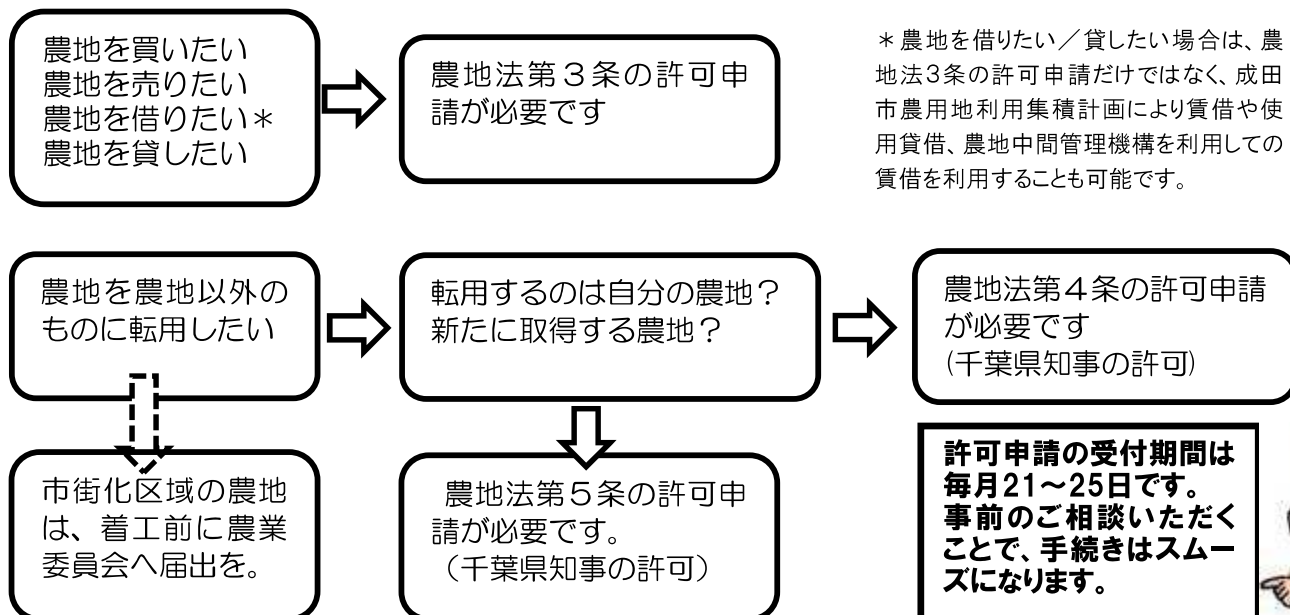
詳しくは、農政課（20-1541）へお問い合わせください。

## こんなときは、農業委員会事務局へ相談を

みなさんの農地は「農地法」という法律で守られています。ご自身の土地であっても、自由に売り買いしたり、家を建てたり、駐車場にしたりすること(転用)は、許可を受けなければできません。次のような場合は、事前に農業委員会事務局へご相談ください。

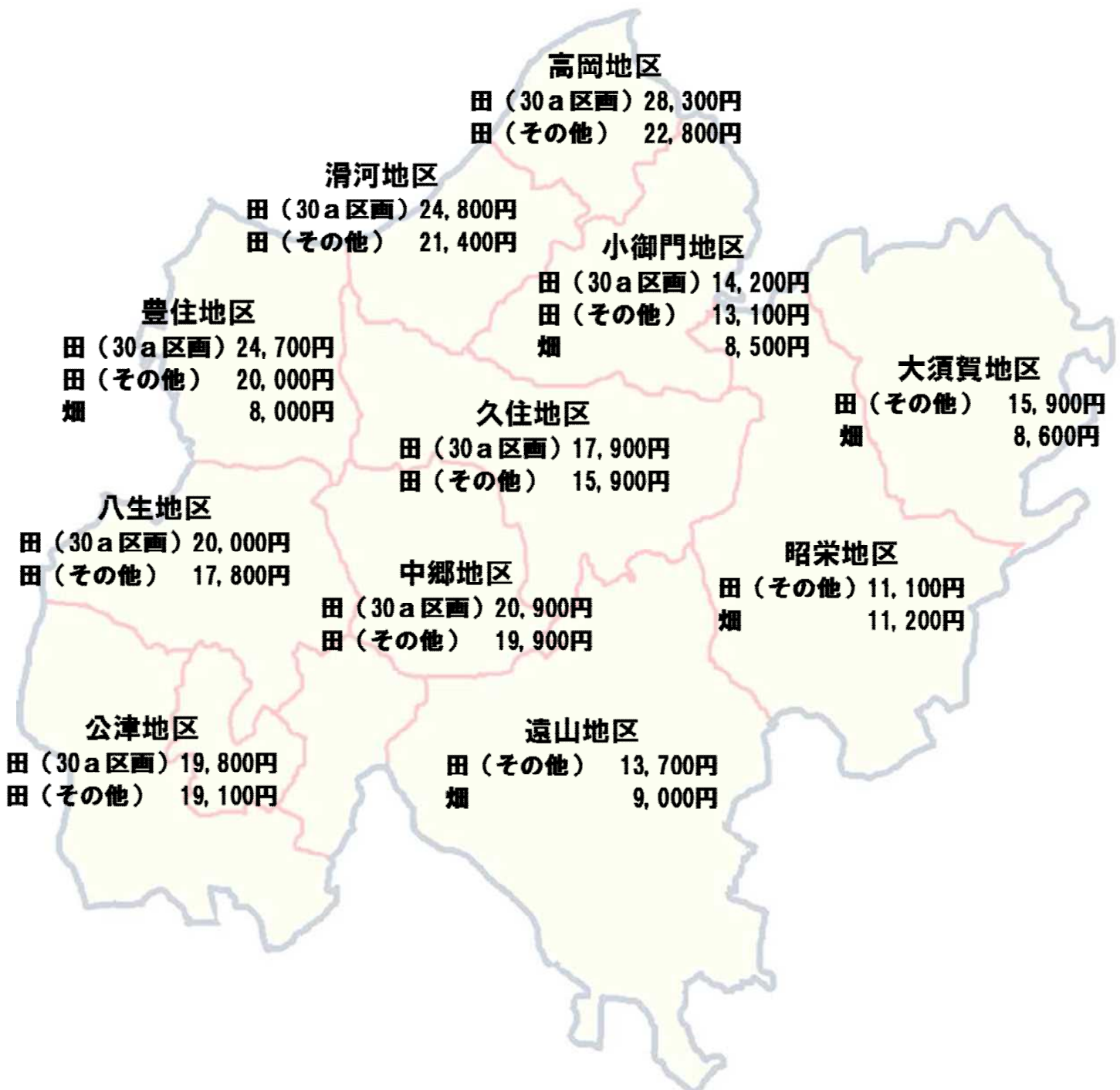
※農業振興地域の整備に関する法律により指定された地域内の農用地(農振農用地)や、第1種農地など優良農地は、転用できない場合があります。

※市街化区域内の農地でも転用には届出が必要です。農地に関することや疑問があれば気軽にお尋ねください。



## 平成30年成田市賃借料水準(10aあたり)

賃借料の目安として、過去1年間に契約された賃借料の平均額をお知らせします。地区ごとの平成30年1月から12月までに契約された賃借料の平均額は地図に示したとおりです。平均額は農地10a当たりの額で、著しく高額または低額のもの除いて算出しました。また、田で物納の場合は一等米60kgを13,900円で換算してあります。



## 毎月第1水曜日、農地・農政相談を 下総・大栄の両支所で実施しています

市では、農地の貸し借りや売買などの権利取得や農政に関する相談会を下総・大栄地区で実施していますので、是非ご利用ください。(相談には事前の予約が必要となります)  
詳しくは農政課(tel:20-1542)までご連絡ください。

実施日○毎月第一水曜日

時間と会場○下総地区…午前8時30分～11時30分 下総支所農政課分室

○大栄地区…午後1時30分～4時30分 大栄支所農政課分室



詳細な農業者年金の内容やご相談については、最寄りのJAか農業委員会または農業者年金基金にお問い合わせ下さい。

独立行政法人農業者年金基金

tel:03-3502-3942(企画調整室)

## ストップ地球温暖化



地球にやさしい  
環境にやさしい  
人間にやさしい  
農業はやさしさの  
キーワード  
ありがとう農業  
守ろう農地



くらしと経営に役立つ記事と  
元気の出る情報がいっぱいです。



発行日/毎週金曜日

お申込みは、お近くの農業委員、  
又は農業委員会事務局へ

tel:0476-20-1573

## 編集後記

私の地域は、水田単作地帯で、一部は販売目的の野菜を作付している農家もおりますが、自家菜園程度で、他には貸農園が少々出耕作による芋農家と蕎麦農家によって辛うじて耕作放棄を免れているところです。

稲作農家も高齢化と、後継者不足により農家戸数も減少し、大規模化しておりますが、ここにも後継者不足の波が押し寄せています。

米の消費量も減少し、飼料用米や加工用米に頼らざるをえない現状ではないでしょうか。

良質米の直接販売や6次産業化により少しでも有利販売し、未来の見える経営にしたいものです。

編集委員 小川